



第 83 号
 発行所
 岡山県子ども会連合会
 広報部
 700-0807 岡山市北区南方 2-13-1
 岡山県福祉・ボランティア・NPO 会館
<http://www.kodomokai.or.jp/okayama/>
 TEL (086) 226 - 1261
 FAX (086) 226 - 1303
 発行令和 3 年 10 月



令和 2 年度 KYT 登山の様子 2020.10.17



新型コロナウイルス感染禍の子ども会活動

岡山県子ども会連合会

会長 赤澤正基



日本国内における新型コロナウイルス感染は、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号から始まり、2年目の令和3年8月の第5波に於いては、一日に全国で新規感染者が2万5千人を超える日も珍しくなくなり、一向に収束の見通しがつかない状況でした。全国では通算でおよそ100人に一人の割合で新規感染者がでており、その内のおよそ100人に一人が亡くなっていました。

医療逼迫も深刻な状況で医療崩壊が始まっており、自宅療養の名のもとに少なからず死亡者数も増加していました。そして小中学生の低年齢児童生徒にも新規感染者が発生し、岡山県においても日々の新規感染者数は過去最多を更新して変異株に置き換わり、とにかく「感染しない・感染させない」ように自己防衛するしかない状況でした。10月現在ではワクチン接種も進み緊急事態宣言も解除になり、新規感染者数については大幅な減少傾向が続いています。

一方で地球温暖化による異常気象で今夏は気温も40℃を超え、長期の豪雨も多発しており正に非常事態でした。このような状況下における子ども会活動は深刻な問題で、全国的に従来のような活動は延期や中止がごく当たり前の状況でした。

そこで全子連の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインによれば、3密を避けて手指消毒を徹底し、無症状感染者からの感染が特徴であるだけに自分が感染者であることを想定して、感染防止に留意することとされています。

また単位子ども会活動の実施の判断については、地域ごとの感染状況を十分把握し地域の方針やご家庭の理解と協力を得ながら、新型コロナウイルスを正しく恐れて子ども会活動を実施することが大切であるとされています。

具体的には感染リスクの大きさを予測し、それにより準備の仕方や管理

体制を十分考慮することが重要であるとされており、次の6点を指摘しています。

- ・ 日頃から正しい知識を得ること
- ・ と適切な対応が求められること
- ・ 地域の学校や自治体の対策に基づくこと
- ・ 参加者と共に保護者の理解と協力を必ず得ること
- ・ 参加者と共に感染防止策を考え、事前・活動中・事後対策を徹底すること
- ・ 新しい生活様式に基づく子ども会活動を行うこと
- ・ 3密を避けるためオンライン活動をとり入れるなど、新しいことにチャレンジすること
- ・ 企画段階での留意事項としては
 - ・ 企画団体に感染リスクから入ると、無理かという思いが先に立ち中止になってしまうので、総合的に開催の可否判断をすること
- ・ 準備段階での留意事項としては
 - ・ 3密の回避、備品用具の消毒、休憩場所・トイレの確認、移動手段、体調不・良時の対応策などを確認すること
- ・ 活動中では特に少人数での行動

を原則としてグループも固定すること

- ・ 健康チェックでは2週間前から定期的な把握と確認が求められる

活動後の留意事項としては

- ・ 健康状態のフォローと、陽性者が発生した場合には濃厚接触者の判断を含めて団体としての対応を、「慌てず騒がず」に保健所に確認すること

とりあえず第5波は大幅に収束傾向にあるものの、第6波到来(リバウンド)のないことを誰も予測することは出来ません。皆さんで正しく新型コロナウイルスを理解し、賢く共同作業をすることで非日常から日常を取り戻すことが重要であることを忘れずに、子ども会活動に取り組んでいきましよう。県子連では事業計画に沿って最大限の注意・対策を図りながら事業を進めておりますが、「桃太郎ミステリー列車」だけは新型コロナウイルス感染対策上、已む無く2年連続の中止に至りました。県内すべての子ども会が一日も早く、元気に楽しく明るい活動が再開できるよう、早い終息を願うばかりです。

令和 3 年度 市町子連事務担当者会議

令和 3 年度 4 月 16 日きらめきプラザにおいて、担当者会議がありました。

- 1. 子ども会安全共済会について
- 「全国子ども会安全共済会」の制度と現状
- 令和 2 年度共済会利用状況
- 県子連における現状の問題点等
- 2. 県子連および各市町子連の体制について

- 県子連今年度体制について
- 県子連令和 2 年度事業報告
- 県子連令和 3 年度事業計画について
- 3. その他
- 表彰の申請
- ミステリー列車について
- 子ども大会参加のお願い



第 50 回岡山県子ども大会（表彰式）

令和 3 年度定期総会 開催

令和 3 年 7 月 11 日きらめき

プラザに於いて、

岡山県青少年育成県民会議副会長

森谷 正孝 様

岡山県教育庁生涯学習課課長

栗原 宏之 様

岡山県議会議員

蓮岡 靖之 様

岡山県議会議員

小野 泰弘 様

の御来賓をお迎えして、第 50 回（令和 3 年度）子ども大会（表彰式）・定期総会が開催されました。赤澤会長の挨拶の後、長年の活動を讃えて団体・個人のみなさんに表彰状が授与されました。例年なら 6 月に開催する予定でしたがコロナ禍のため、この日に順延しました。

岡山県子ども会連合会会長

（公社）岡山県青少年育成県民会議会長

表彰

子ども会

新田子ども会

綾部西子ども会

岡山県子ども会連合会会長感謝状

子ども会育成指導者・ジュニアリーダー

山下恵美 (高梁市)

森定叶恵 (J) (倉敷市)

早川夏美 (J) (倉敷市)

蛭田海秀 (J) (倉敷市)



その後、定期総会が開催され、令和2年度の事業報告・決算報告が行われ、令和3年度の事業計画・予算および活動方針が発表されました。



日時	行事名	開催地
4月8日(木)	中四国(全国)事務担当者会議(Web会議)	岡山・きらめきプラザ
4月16日(金)	県子連事務担当者会	岡山・きらめきプラザ
5月21日(金)	県子連理事会I→書面議決	岡山・きらめきプラザ
5月 日	全子連総会中止	東京
6月12日(土)	中四国地区第1回理事会(Web会議)	岡山・きらめきプラザ
7月11日(日)	岡山県子連定期総会・20周年子ども大会	岡山・きらめきプラザ
8月1日(日)	県ジュニアリーダー研修会I	連島町 広工房
8月21~23日(土・日)	中・四ジュニアリーダー大会中止	徳島県
9月4~5日(土・日)	桃太郎ミステリー列車 2020 中止	兵庫県
10月2日(土)	KYT登山	伯州山
11月6・7日(土・日)	第51回中・四育成研究大会中止	高知県
11月 日(一)	中四国地区第2回理事会	岡山・きらめきプラザ
12月5日(日)	県ジュニアリーダー研修会II	ライフパーク倉敷
11月20・21日(土・日)	第54回全子連中央会議中止	北海道札幌市
12月4・5日(土・日)	安全啓発(中級講習会)	山口県
12月10日(金)	県子連理事会II	岡山・きらめきプラザ
12月19日(日)	岡山県子ども大会	高梁市備中松山城
1月16日(日)	安全啓発(初級講習会)	ライフパーク倉敷
	中四地区推進研究会	

県ジュニアリーダー研修会I 開催



8月1日、倉敷市連島町の八幡神社の境内の中にある矢柄公民館にて開催されました。

今回は、ものづくり体験として作業台作りに挑戦しました。講師に、渡辺丞氏、広政良氏、三宅文華氏を迎えて21名の参加者が体験をしました。





はい、パチリ
で、終わりました。



完成した作業台を食卓にして昼食
をとりました。

鏡野町が開設した標高950mの清水高原トレイルの東屋を目指して8時半に出発。



午前8時に鏡野町人形峠トンネル手前を左折して日本原子力研究開発機構の人形峠環境技術センター駐車場に集合。準備体操を済ませて...

台風16号の接近を心配していましたが、進路が変わり好天に恵まれ絶好の登山日となりました。初秋とはいえまだまだ紅葉には早かったようですが、稜線上の爽やかな風は至福の至りでした。また岡山県に発出されていた新型コロナウイルス緊急事態宣言も解除され、予定どおり10月2日(土)、無事に実施することができました。

KYT登山の伯州山

疲れが出始め、9時20分に東屋着。



一時間もしないうちに、





ここで集合写真、9時



9時50分、二等三角点に着。遠くに三朝町の街並み、その奥に日本海を見ながら、



ここから3名は、駐車場へ引き返して緊急事態と帰路の送迎（赤和瀬駐車場）に備えるために下山しました。今回は残念なことにジュニアリーダーが新型コロナウイルス感染拡大に伴い、遅れ気味の学業の都合で参加者はなく育成者のみのKYT登山となりました。

伯州山までの登山道は地元住民の協力で綺麗に除草されており、安全なトレイルコースとなっていました。途中、眼下に広がる山並みを楽しみながらアップダウンを繰り返しながら、無言で登る。



初秋の風を受けて、ブナの原生林を抜けていく。



他のグループも到着。



ここで、小休止。



10時15分、御林山に着、

今日は、この感じ・・・んっ？



この方向に大山が見えるけど・・・。



10時半、再出発、

やや遅れ気味、「早くここまでおいでえ。」と声を掛けられ頑張った。



向かう先は、あの展望台だ。



さあ！出発。歩け歩け、



後ろを振り返るとよく歩いたもんだ。



ここからの眺望は素晴らしく多くの登山者で賑わっていましたが、大半の登山者はここから引返し、片道30分程の伯州山を目指したのは我々のパ



・・・ここで、早めの昼食。



展望台に県子連の旗を掲げ、

ーテイだけの様でした。反対の伯州山のルートから登ってきた幼児づれの家族を見送って、



我々は、11時半出発。展望台を後にする。



やはり登山には厳しい道もあり、



充分注意しながら通過・・・今度は、なだらかな道を、



ここで、やっと・・・山頂の看板。



12時5分、登頂成功・・・「やったあ。」(標高一〇四五m) 標識の前で集合写真、



ここで、



ヒマラヤ登山経験者である赤澤会長によるKYT登山に関する講義を受けました。登ってきた展望台直下の急斜面は積雪期にはかなり大きな雪崩も発生しているの、容易な山でも夏山と冬山とは基本的に違うので、体力づくりや装備そして技術等の重要性を学びました。

子ども会におけるハイキングや登山実施において、無事故で安全に楽しいものにする為には育成者としてどうすればよいのか、様々な角度から体

号験に裏打ちされた説明から多くのことを学ぶことが出来ました。山岳事故の発生時刻は疲れと気の緩み等による午前11時と午後2時に集中していることや山岳事故の99.9%はヒューマンエラーに基づくもので、改めてKYT学習の重要性と日頃から復習の必要性を再確認できました。

目的の伯州山(標高 1045m)を一路下山



どこからともなく聞こえてくる水の音・・・



元気をもらい下山。途中、大雨で崩れた、



をとおり、



13時10分、赤和駐車場に車を回し
てくれた仲間と合流しました。



山頂を後に我々は13時に、下山地の赤和瀬駐車場へ全員無事に到着しました。下山コースは今夏の集中豪雨で登山道が崩壊していたり、倒木も目立ち、ぬかるみも多くて登ってくる人は殆どいない状況でしたが、偶然にも一輪の美しいキキョウを見つけ和ませてくれました。そして春には群生しているイワウチワの可憐な花が咲き乱れると聞いています。参加者の皆さん大変お疲れ様でした。奥津温泉の溪谷の秘湯「大釣温泉」に入って無事に終了。総合歩数 19736 歩で完歩、以上。

以上が今年のKYT登山の記録です。

年齢的には厳しい登山でしたが、参加してみれば我ながらよくやったと思います。次回、ぜひとも参加のほどよろしくお願いします。

ここで、昨年度の行事です。コロナ禍で行事が出来なかったと思いますが、記事が届いた二点を紹介します。

美作市子ども会連合会は、毎年行っていたたこあげ大会が中止になり、たこ作り教室を出前授業として美作第一小学校と勝田東小学校に向きましました。





次に、2月21日ライブパーク倉敷にて開催された「安全啓発研修会」について報告します。



角田勝生事務局長が講師になり、初級講習会を開きました。



楽しい実りある講習でした。

あとがき

なんとか子ども会の新聞も完成しました。県下の広報委員各地域の子ども会の行事もなかなか開催されないと思いますが、行事があれば記事、写真を広報副部長中谷まで送ってください。12月には高梁市で子ども大会が開催される予定です。その記事と一緒に載せたいと思いますのでよろしくお願ひします。With コロナまた、風邪をひかないよう各地の活躍を祈念します。広報部

・・・ヨロシク。

